

令和3年度 道徳教育総合支援事業 研究発表会 (R3.12.2)

みどり市立笠懸中学校

第3学年 主題名「心から信じ合える友を」 B-8 友情、信頼
教材名「ライバルどうしの友情—スピードスケート 小平奈緒と李相花」
(出典 新しい道徳 東京書籍)

ねらい 小平選手と李選手の二人の関係を通して、友情の深さを理解し、互いに高め合い、自分をより良くしようとする態度を育てる。



【導入】本時のめあて

「心から信じ合える友達とは？」

※信頼できる友達と信頼できない友達の違いは何かを考え、問題意識をもつ。

- ・気が合うかどうか。
- ・一緒にいて楽しいかどうか。
- ・自分が気楽でいられる。

【展開】補助発問

「口元に指を当てた小平選手の行動について、あなたは同じような行動を取れますか。また、なぜそのような行動が取れたのでしょうか。」

※映像を視聴して、臨場感をもって考える。

- ・自分には、真似できない。
- ・純粋に、公平な状態で戦いたい。
- ・堂々と勝負したい。



【展開】中心発問

「もし両選手の立場だったら、レースの終わった後、相手選手のことをどのように思ったでしょう。」

※互いの心情を捉え、道徳的価値を自分との関わりで考える。

- ・本気で戦えたから悔いはない。
- ・ライバルの存在があったから、自分を高められた。

【展開】補助発問

「心から信じ合える友達」とはどのようなものですか。

※めあてについて再度考え、考え方の変化を自覚する。

- ・互いに信頼し合える。
- ・楽しいときだけでなく、つらいときにも互いのことを思い合える存在。
- ・相手を思いやり、遠慮せず、本音で語る。



【終末】振り返り

「あなたは授業を通してどのようなことを考えましたか。」

※よりよい自己の考えや生き方への思いや願いを深める。

- ・今までは自分のことばかり考えていたが、これからは自分の成長だけでなく、お互いに高め合えるような関係性をつくっていきたい。